

向日市・乙訓の石碑 part II

令和7(2025)年4月12日(土)～7月6日(日)

休館日 毎週月曜日(ただし5/5は開館)、5/1(木)、5/7(水)、6/3(火)、7/1(火)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) **入館無料**

向日市内や乙訓地域では、ある出来事や人物の功績を永く記念するために、文字を刻んだ石碑が多く建てられてきました。石碑は野外にあって、身近で目にすることができ、親しまれていますが、なかには時の流れのなかで場所が移転したり、かえりみられなくなって失われたりするものもあるようです。

こうした石碑について、写真や文字の拓本を展示し、この地域の人々が未来へ伝えようとしたメッセージを読み解きます。

昨春開催したテーマ展に、新たにご紹介する石碑を加え、関連する古文書や記録資料も交えて、ご覧いただきます。



テーマ展示関連イベント

歴史講座〈全2回〉向日市・乙訓の漢文石碑を読もう

江戸時代から明治・大正時代の石碑・墓碑には、漢文が刻まれているものが数多く残されています。石に刻まれた文字を読み解きながら、日本における漢文のひろがりや、その歴史について学びます。

講師 金文京さん(京都大学名誉教授)

日時 ① 5月18日(日) ② 5月25日(日) ①・②ともに午前10時30分～12時

日曜談話会 石碑にまつわる古文書を読もう

記念碑や道標、愛宕灯籠に関する古文書や記録を読み、石造物が建立される経緯やその後の流転、地域の人々との関わりについてご紹介します。

報告 安國陽子(向日市文化資料館資料調査協力者)

玉城玲子(向日市文化資料館館長)

日時 6月15日(日) 午前10時30分～12時

* 講座・談話会ともに

場所は当館2F研修室

申込み受付は、4月12日(土)

午前10時から当館へ直接、ま

たは電話(075-931-1182)にて。

参加無料、定員40名(先着順)。

写真(右上から時計回り) 向日町忠魂碑/高砂基助道標/ビール麦興産紀功碑/観音巡拝資田碑/貯水池紀功碑/中島浮山墓/島淳節墓/長岡宮城大極殿遺址碑



阪急東向日駅から徒歩12分
J R向日町駅から徒歩20分

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

tel 075-931-1182/fax 075-931-1121

https://www.city.muko.kyoto.jp/site/shiryokan/